

抜歯器具

—その奇妙なものたちの物語—

著者 坂下英明

抜歯鉗子をこよなく愛する
著者が語る物語

* * *

皆に嫌われがちな医療行為の「抜歯」と、「抜歯器具」について解説した一冊。

第1章では、安全、安心で痛くない抜歯のコツを伝授。

第2章では、著者が長年にわたり集めてきた抜歯鉗子を中心に、古今東西の抜歯器具の写真約250枚を掲載。また、抜歯に関する成書がある先達たちの業績や考え方をまとめており、抜歯の歴史と今を俯瞰することができます。

随所に肩のこらない抜歯についてのコラムも折り込まれ、読みものとしても楽しんでいただけます。



ISBN 978-4-89605-313-5

CONTENTS

第1章 抜歯とは何か

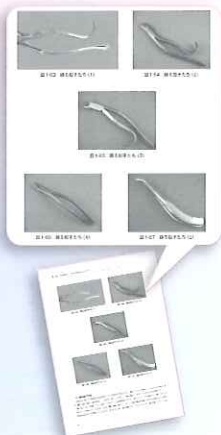
第2章 抜歯器具—その奇妙なものたち—

* 取り上げられている口腔外科の先達

河野庸雄、加藤清治、生田信保、原田良種、遠藤至六郎、金森虎男、etc.

* 抜歯のコラム

アメリカ海軍式の抜歯基準?/シーボルトの抜歯器具/究極のマニア本、その名は?/佐藤進と明治期の抜歯 etc.



○B5判 / 150ページ ○定価1,944円(本体1,800円+税) ○送料300円

一般財団法人 口腔保健協会

歯科医の立場と患者さんの立場で!!

歯科医と患者の架け橋に



安田 登 著

- 新書判
- 258ページ
- 定価1,728円(本体1,600円+税)
- ISBN978-4-89605-305-0

—歯科医つれづれ記—

掲載内容

- ★女優の口元 気になりませんか?
- ★ハミガキ王子、三つの極意。ハミガキ王子とは何者
- ★おしゃぶり代わりに野菜が……?
- ★頬杖ついたら顎に影響が……?
- ★食育は栄養士だけじゃない! ……etc

歯科医と患者さんの架け橋となる
50編のエッセイを掲載しております。



歯科医師の著者ならではの視点で綴る、`趣味の歯科エッセイ、

OHブックス
シリーズ
12

歯と噛み合わせの物語

— 薬師さまからベートーヴェンまで —

藍 稔 著

掲載内容

- 如来さまの歯の数はヒトより多い40本
- 牙のあるお不動様は噛み合わせに難あり?
- ほっぺのふくらした大黒様は歯ぎしりの常習者?
- ティラノサウルスの上下の歯は噛み合わない
- 攻めには強いが守りには弱いティラノサウルスの頭骨
- トリケラトプスの歯は使い捨てのデンタルバッテリー
- 口の開き方でトリが恐竜の子孫であることがわかる
- カール5世の暗い性格は突き出たあごと垂れ唇のせい?
- マリーアントワネットもあごが長かった
- あのカンパル線のカンパルはゲーテには冷たかった
- そのゲーテは詩人ハイネを冷たくあしらった
- 森鷗外の著作に出てくる「カンパルの面角」
- モーツァルトの歯はむし歯でぼろぼろ
- ベートーヴェンは木の棒を歯にくわえて音を聞いていた?

- 新書判 ●276ページ
- 定価1,728円(本体1,600円+税)
- ISBN978-4-89605-295-4



豊富なイラストや
写真(約160点)を掲載。
見ても読んでも楽しい1冊!